

国家Ⅰ種 お疲れ様会 アンケート結果報告

昨年（2011年）5月の本試験後に、東京都内でお疲れ様会を実施いたしました。急遽開催したこと、告知がホームページ中心だったことから、どれだけ集まるのか不安もあったのですが、蓋を開けてみたところ、予想以上に多くの皆さんにお集まりいただき、本当にありがとうございました。

当日は、試験直後でお疲れの中、簡単な解答アンケートを行いました。今回、ここでは、アンケートのうち、工学の基礎の部分に关しまして結果と簡単な報告を行いたいと思います。この会は、今年も是非開催したいと考えています。アンケートに关しましては今後また色々な形で活かしていきたいと考えております。

丸山 大介

No.	内容	解答数					正答率
		枝1	枝2	枝3	枝4	枝5	
1	平方根の近似	1	0	8	1	2	66.7%
2	相加平均・相乗平均	8	1	3	0	0	66.7%
3	空間幾何（球）	0	8	2	1	1	66.7%
4	条件付きの最適化	0	1	9	2	0	75.0%
5	回転体の体積	0	1	0	10	1	83.3%
6	平均値	0	0	2	9	1	75.0%
7	線形計画法	0	0	1	8	3	25.0%
8	再帰のローチャート	0	0	1	11	0	91.7%
9	確率分布	3	3	2	1	3	25.0%
10	斜面との衝突	0	2	8	2	0	66.7%
11	運動方程式	0	0	2	10	0	83.3%
12	衝突とエネルギー保存	9	2	0	0	1	75.0%
13	円錐振り子	0	11	1	0	0	91.7%
14	状態方程式	3	1	7	0	1	58.3%
15	レンズの公式	1	1	0	2	8	66.7%
16	横波の媒質の運動	0	7	3	0	2	58.3%
17	コンデンサの誘電体	2	2	4	0	4	33.3%
18	電磁力	8	1	0	2	1	66.7%
19	電力の最大化	3	9	0	0	0	75.0%
20	全波整流回路	4	0	0	1	7	58.3%

青：正解選択肢，緑：正答率の高い問題（66.6%以上），赤：正答率の低い問題（33.3%以下）

標本数 $n = 12$ ，平均点 13.1 点

○ 国家Ⅰ種全体の平均点が 19.2 点であるため、今回のアンケート調査は、平均よりは高い層が集まっていると考えられます（全体の平均点は出していません）。

○ 正答率が 66.7%の問題が 14 問あります。教養試験で 25 点程度が取れるのであれば、ここを取れば合格点にほとんど入ってきます（教養 25 点なら専門は 21 点程度でよい）。教養で平均点（20 点）程度の場合、専門では 25 点が必要となるため、工学の基礎で 14 点でも足りてはいますが、さらに中難易度の問題（3 問）を解くことで確実に合格点に入ってきます（工学の基礎より、選択の専門の方が難しいことに気をつけてください）。いずれにしても、まずは緑の問題を確実に解ける実力をつけることが目標となります。

○ 正答率の低い問題のうち、No.7 は引っ掛け問題、No.9 はやや珍しい問題、No.17 は知識が必要な問題となっています。また目新しい問題は全体的に正答率が低くなっています。